

第21期のJUDI北陸は、JUDI20周年記念事業の一環として2011年8月に「北前船フォーラム in 三國」、2012年6月にブロック総会・雁木フォーラムを上越で開催しました。その概要をお知らせします。

北前船「みちのく丸」寄港記念・JUDI20周年記念事業 北前船フォーラム in 三國

日時：2011年8月5日（金）17:30～19:30

会場：三國温泉ゆあぽーと（福井県坂井市三國町）

参加者：谷明彦、水野一郎、埒正浩、内村雄二、加藤哲男、川上洋司、玉森慶三、五島真由美、他約20名

JUDI北陸ブロックでは、昨年度よりJUDI20周年事業として「北前船交易がもたらした“もの”と“こと”—その現代的意義の検証と再生」をテーマに活動してきました。この夏、復元北前船「みちのく丸」が、青森から日本海沿岸の北前船ゆかりの寄港地を航行し、8月5日に三國港に入港した際に合わせて、フォーラムを開催しました。

●パネリスト

昆 政明氏（みちのく北方漁船博物館財団理事）

発表「北前船の歴史と交流」

三井紀生氏（笏谷石研究家、日本海事史学会会員）

発表「北前船交易にみる笏谷石の歴史と移出」

木村昌弘氏（三國港突堤ファンクラブ会長）

発表「三國港突堤と北前船」

●報告（明治三大築港交流会）

斉藤万芳氏（熊本県三角西港の文化・文学を考える会会長）

西脇千瀬氏（宮城県 野蒜築港ファンクラブ）

●コーディネーター

水野一郎氏（金沢工業大学教授）



三國港に寄港したみちのく丸



夕焼けの三國港突堤を背景としたフォーラム会場

前半は、昆氏によるみちのく丸の説明をはじめ、三井氏により北前船で福井産の笏谷石がバラストとして各地に運ばれた話や、木村氏により三國港の歴史などについて発表されました。

後半は、明治を代表する築港である三國、三角港、野蒜港の「明治三大築港交流会」として、それぞれの地域での取り組みや、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた野蒜港の現状などを報告し、今後も三港で協力し合っていくことが確認されました。

最後に総括として、「かつて北前船は各地の特産物や文化を運び、各地の産業を発展させ、非常に大きなエネルギーを持っていた。戦後は、海に背を向けてきたが、海は恵みをもたらすとともに恐れをもって見ないといけない存在であり、東日本大震災が海にもう一度目を向ける必要性を教えてくれた。海に向き合う町や生活を再認識していく必要がある。」として締めくくられました。



都市環境デザイン会議 in 上越

日時：2012年6月16日（土）～17（日）

会場：町家交流館 高田小町ほか（新潟県上越市）

参加者：安宅恵、稲葉実、島津勝弘、柳原恭順、上坂達朗、小間井孝吉、谷明彦、徳本修一、道地慶子、水野一郎、埜正浩、内村雄二、川上洋司、玉森慶三、中澤俊、五島真由美、他 36 名

● 北陸ブロック総会

日時：6月16日（土）12：00～13：00

会場：町家交流館高田小町

参加者：会員 14 名

<議事要旨>

- ・第21期の活動報告・収支報告が承認されました。
- ・2期4年間にわたり北陸ブロック幹事を務められた川上洋司氏（福井）の任期満了につき、新幹事として、島津勝弘氏（富山）が満場一致で承認されました。
- ・来期の代表幹事候補として、玉森慶三氏を選出することが報告されました。（正式には7月に東京で開かれる全国総会で決定）
- ・第22期の活動計画・収支計画について
→各県持ち回りで開催しているため、来期は石川、富山で開催する。
- ・7月の全国総会に、ぜひ多くの会員にご参加いただきたい（ブロックから参加費支援を予定）。



● 街並み散策 part1

日時：6月16日（土）13：30～14：30

案内：上越市町家ボランティア

雁木が連なる高田の街並みを散策し、旧今井染物屋、高野麻屋、きものの小川といった町家や、映画館として利用している高田世界館の建物内部を見学しました。



旧今井染物屋



高野麻屋



きものの小川



高田世界館

● 雁木フォーラム

日時：6月16日（土）15：00～17：30

会場：町家交流館 高田小町

- 発表1「上越市の雁木の現状と景観への取組について」 奥田博氏（上越市都市整備課長）
- 発表2「人と人をつなぐ思いやりの雁木」 高野恒男氏（特定非営利活動法人 街なみ Focus 理事長）
- 座談会「雁木を活かしたまちづくりについて」
コーディネーター：水野一郎氏（金沢工業大学副学長）
パネリスト：島津勝弘氏（環境デザイナー）
内村雄二氏（福井工業大学教授）
高野恒男氏（上記）
オブザーバー：吉田慎悟氏（色彩計画家）
稲葉 裕氏（照明プランナー）

<主な意見>

- ・昔のように、大雪の時に道路を除雪せず、雁木間を横断するトンネルを掘ると面白い。
- ・見せたいものを引き立たせる照明の工夫が必要。カッコ良くないと人は来ない。
- ・防火地域等の法規制の問題があるため、町家を守るためには、「町家特区」などにするとよい。
- ・重伝建や景観地区などの制度の活用も視野に入れるべき。



- ・住民の意識改革がまだまだ必要。雁木の補助制度もインセンティブの付け方を工夫すべき。
- ・行政、建築家、住民、それぞれから働きかけをすることが大事である。
- ・行政も民も、それぞれの持ち場で最大限に努力することが必要である。ハードルがあることを理由にせず、それを倒すための知恵を出すべき。
- ・高田のミッションデザインを組み立てるべき。
- ・北陸新幹線開業に向け、高田の特徴である寺院群、高田城、町家を活かして回遊性を高めるべき。
- ・質の高い雁木のモデル区間を作るとよい。
- ・コミュニティの再構築の良い素材として雁木を活かすべきである。



ゲストの稲葉氏（左）、吉田氏（中央）、高野氏（右写真中央）

● 懇親会

日時：6月16日（土）18：30～

会場：和ダイニング藤作 別館

夜は、地元のまちづくり団体の方や上越市役所の方にも多数ご参加いただき、恒例の懇親会を開催しました。新旧ブロック幹事が挨拶を行い、今後もますます活発に活動していくこと、今日を機会に、JUDIとしても上越を応援していくことを宣言しました。また、本日のフォーラムの感想などを交えながら一人ひとり挨拶し、大いに盛り上がりました。



前幹事の川上先生と新幹事の島津氏が金屏風の前で固く握手



● 街並み散策 part2

日時：6月17日（日）9：00～11：00

案内：上越市役所都市整備課・文化振興課の皆様

翌日の街並み散策では、さらに広範囲を散策し、朝市（二七の市）や旧師団長官舎等の歴史的建造物を見学しました。様々な資源を有していることに感心する一方で、ストリートファニチャーや建築物、アーケードなどのデザインや、雁木を設置せずまちとの連続性を断ち切っている公共施設や病院等に対し、疑問を投げかける場面も多々ありました。



カラフルなパラソルで賑う朝市



移築整備された旧師団長官舎



現代風雁木のアーケード



旧第四銀行高田支店

●北陸ブロックの今後の活動予定

◇JUDI第22期定例総会 in 東京

日時：2012年7月14（土）～16日（祝）

会場：日本大学理工学部5号館ほか

◇都市環境デザイン会議in石川（予定）

日時：2012年秋頃

会場：石川県内

◇都市環境デザイン会議in富山（予定）

日時：2013年春頃

会場：富山県内

【お問合せ先】

都市環境デザイン会議北陸ブロック
幹事●島津勝弘（島津環境グラフィックス）
事務局●埴 正浩・五島真由美
（株）日本海コンサルタント

TEL 076-243-8291/FAX 076-243-0810

E-mail m-rachi@nihonkai.co.jp

JUDI 北陸ブロックホームページ

<http://www.judi-hokuriku.gr.jp/>